

平成 29 年度 第 3 回観光立国推進協議会観光教育専門部会

目 的 観光教育推進事業の一環として、その推進に向けての諮問、助言を行うものとする。観光立国日本の将来を担う子どもに対し、自分の住む地域、国を愛する心を醸成し、人々の交流が地域経済の活性化を促すことに対する理解を小学校の授業を通じて深める必要があると思われる。その活動の結果として、将来、観光産業へ進む人材が育つものと考えられる。また、意見交換においては、その解決方法を議論する場を提供することを目的とする。

日 時 平成 30 年 2 月 28 日（水） 16：00～17：00

場 所 日本観光振興協会 A 会議室
（東京都港区虎ノ門 3-1-1 虎ノ門 3 丁目ビルディング 6 階）

主 催 公益社団法人日本観光振興協会

参加状況 10 名（委員）＋事務局 2 名（オブザーバー 2 名、欠席 4 名）

I. 開会

II. 議題

1. 観光教育アンケート実施結果について

公益社団法人日本観光振興協会 事業推進本部 担当部長 北島 哲也

2. 観光教育副教材のアドバイザー会議設置について

公益社団法人日本観光振興協会 事業推進本部 担当部長 北島 哲也

3. 観光教育調査報告について

- ・ 石垣島調査

公益社団法人日本観光振興協会 事業推進本部 観光地域づくり部長
高井 晴彦

- ・ 対馬調査
- ・ 札幌調査

公益社団法人日本観光振興協会 事業推進本部 担当部長 北島 哲也

4. その他

Ⅲ. 閉会の挨拶

公益社団法人日本観光振興協会 常務理事 天野 啓史

概略報告

今回、3 回目の開催となった。（公社）日本観光振興協会 北島から各都道府県に対して当協会が観光教育アンケートを実施し、いくつかの県から観光教育実施協力について前向きな回答を頂いた旨を報告させて頂いた。この結果を整理して観光教育に対して協力的な県を選定して次年度以降、協会内で承認を得た後、専門部会で承認をいただく事で同意を得た。また、次年度以降の出前授業を行う際の副教材作成の為、観光教育副教材アドバイザー一会議設置について説明し、承認を得た。今年度事業、「観光教育調査事業の実地調査報告を高井部長（石垣島）、北島（対馬、札幌）から視察した初等教育の授業視察や教育委員会訪問を含めて報告した。玉川大学の寺本教授から総合学習の時間等を使用した優れた教育現場の実践が認められれば、学習指導要領にも観光教育が取り込まれるとの指摘があった。観光庁、川村室長からは地方運輸局等の出前授業の下地があるところで、地域の経済界から講師を引っ張ってきて、出前授業を行うことも可能ではという意見もあった。今年度は初等観光教育の現状と課題についての調査を行ったので、次年度以降は副教材作成、出前授業の実施、シンポジウムの実施等の実践編へ移行予定となっております。

記録写真



会場の様子 1



会場の様子 2



寺本委員長



田村委員代理 川村室長